

県営公園の管理運営に関する事業計画書(概要版)

管理運営に関する基本的事項

(1) 管理運営方針

①利用者満足度のより一層の向上

- ・四季折々の景色を楽しめる景観づくり ・質の高いサービスの提供 ・緑豊かな環境の保全

②安全と健康を守るための公園づくり

- ・事件、事故の未然防止 ・災害、事件、事故時の対応 ・地方公共団体としての責任 ・健康を守る取り組み

③地域と連携した県民協働事業の充実

- ・県民協働による公園づくり、公園利用促進、新事業の開始

④公の視点に立ち公平で効果的・効率的な運営

- ・公の施設にふさわしい管理運営 ・経費の効率化と環境への配慮 ・施設の利用促進 ・地元雇用の創出とコスト縮減

⑤賑わい創出のための新規事業

- ・新規イベントの開催

(2) まつぶし緑の丘公園の目指す姿

- ・里山、広場、水辺の3つのゾーンからなる原風景の特色を生かし、樹木や野鳥、草花、昆虫などのふれあいを通じ、心も体も元気になる公園を目指します。

(3) 指定管理者の責務

- ・地方公共団体として、行政サービスの提供という経験値を基盤に、各都市公園等の管理ノウハウを活かしながら、関係法令等に基づき適切に管理・運営を実施します。

管理執行体制

- ・松伏町新市街地整備課の直轄業務として、公園事務を担当する常勤職員を配置します。災害時等は課全体で人的支援を行うほか、通常時には広報・地域防災・研修・契約・予算編成、出納管理等の業務で各課が支援体制をとることにより、松伏町が一丸となってまつぶし緑の丘公園の管理・運営をサポートします。

管理運営計画

(1)利用者サービス事業計画

①利便性・サービス向上の取組

- ・新たな自主事業の実施 ・特色のある景観づくり

②にぎわい創出の取組

- ・各種イベントの開催 ・PRや利用促進のための広報活動

③収益向上の取組

- ・「利便性・サービス向上」と「公園のにぎわい創出」に連動した収益向上

(2)施設の供用日及び供用時間等

- ・来園者の要望に応え、各駐車場の開錠時間を1時間早めて6:00から開錠します。

(3)SDGsに配慮した運営

- ・特別支援学校や地域学校との持続的な連携の取組

- ・ボランティア団体との持続的な連携の取組

- ・新たな取組(フードポストの設置)

- ・カーボンニュートラル等の取組

施設維持管理計画

(1)公園施設の維持管理・安全確保に関する基本的考え方

- ・来園者が安全安心に利用できる環境を整えるため、毎日、職員による巡回パトロールを行い、不具合箇所を早期発見し、施設損傷と来園者への影響を最小限に留めます。

(2)公園施設の修繕及び長寿命化の考え方

- ・早期発見した不具合箇所は、職員による早期修繕(予防的修繕を含む)を前提に、主要な設備、遊具等については、専門業者による定期点検を実施することで来園者の利用に支障がないよう心がけています。

(3)事故等の発生を未然に防止するための予防策

- ・巡回パトロールの内容を職員間ミーティングで情報共有

- ・巡回パトロール区域をローテーションし「複数の目」による確認

- ・看板設置等による来園者への危険周知の徹底

緊急事態への対応

(1) 災害、事故等の緊急事態における初動・参集体制、連絡体制

- ・所長を危機管理責任者として、直ちに初動体制を構築
- ・拠点事務所となる松伏町役場本庁からまつぶし緑の丘公園は車で約10分(2.8km)
- ・松伏町新市街地整備課職員が人的支援を行うとともに、松伏町総務課地域安全担当(防災担当)や消防・警察の関係機関、自主防災組織等と協力体制を取り緊急事態に対応

(2) 利用者等に対する安全確保対策及び施設の応急復旧対策

- ・安全な場所への誘導(来園者の救護を優先)
- ・巡回パトロールによる状況把握
- ・埼玉県及び松伏町への状況報告
- ・必要に応じ防災設備等の稼働準備、関係機関の受け入れ態勢確保
- ・立入り禁止措置等の応急措置

公園の特性を活かした管理運営

(1) 子育て応援・子ども向け事業

- ・まつぶし緑の丘公園では「赤ちゃんの駅」の整備や「すくすく広場」(2歳児までの専用スペース)を設置する等、子育て環境の充実を図ってきました。
- また、ボランティア団体との協働による子ども向け教室・講座や学校生徒の社会体験事業等、多くの子ども向け事業を実施しています。今後も本公園が子どもの心身の成長と学びの機会となるよう「子育て応援」の視点を持ち、様々な事業に取り組みます。

(2) 公園の特性を活かした管理運営等

①広場ゾーン

- ・広大な広場ゾーンでは、自由な発想による遊び場として開放し、既存設備を活用した「スプリンクラーイベント」や「じゃぶじゃぶ流れ」を引き続き実施します。
- また、花畠を中心に季節に応じた花々を植栽・管理し、来園者の憩いの場を提供します。
- 広場ゾーンで実施する既存の大型イベントを継続開催するとともに、新たなイベントを開催し、さらなる賑わいを創出します。

②里山ゾーン

- ・里山ゾーンでは、自転車競技イベントや昆虫に係る子供向け教室等、里山の標高差や植樹を

活かしたイベントを引き続き実施します。

③水辺ゾーン

・水辺ゾーンでは、野鳥観察や水生生物に係る子供向け教室等を引き続き実施します。

また、調整池の水質については、イケチヨウガイ導入による取組を加速させて水質改善を図ります。